

競技注意事項

※ 競技者ならびに関係者の皆様は、くれぐれもよくお読みくださいますようお願いいたします

1 規則について

本大会は日本陸上競技連盟の公認競技会である。したがって本大会は2026年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、注意事項によって実施する

2 入退場（再入場）について

競技者ならびに関係者の入退場、再入場はすべて2階正面入口とする
入場は9：00より開始とする

3 アスリートビブス等の交付について

アスリートビブス・安全ピン・プログラムは、2階総合案内所にて交付を受けること

4 TIC・表彰・ウォーミングアップについて

TICは2階総合案内所と兼ねて設ける

表彰および記録証（希望者のみ有料500円：申し込みはTIC）は1階役員室にて受け取ること
プログラムの訂正等はTICに申し出ること

ウォーミングアップについてはトラック競技開始15分前までトラックを開放する

また100m競技中バックスタンド側直走路のみ練習可とする（安全のため一方向のみの練習とする）

その他の時間帯はバックスタンド裏の練習場を利用すること

いずれの場合もマーシャルの指示に従い譲り合って練習すること

5 フィールド内での導線について

招集所からスタート地点へは、マーシャルの指示に従い速やかに各自でスタート地点まで進むこと
その際の応援等は不可とし競技の進行の妨げにならないようにすること

メインスタンド前の通行は基本的に禁止とし、スタンドまたはグラウンド下に沿って（8レーン外側）速やかに移動すること

6 更衣室について

更衣室は男女1部屋ずつ設ける

ただし大変狭いので譲り合って使用すること

また荷物を放置しての盗難は各自の責任となる

7 競技について

出場種目の変更、代理出場は認めない

セパレートレーンの競技では安全のために、フィニッシュ後も各自のレーンを走ること

競技用靴については陸連競技規則WA規則TR5.2による

8 競技者招集について

招集所は100mスタート地点付近に設ける

競技者はアスリートビブスを付けたユニフォームを着用して集合すること

トラック競技に参加する競技者には腰ナンバーを渡すので、右横や後ろ寄りのパンツに装着する

ただしリレー種目は第4走者のみ装着する 腰ナンバーは返却の必要はない

招集開始時間、招集終了時間、リレーオーダー用紙提出の締め切りについては競技日程表の通りである

リレーオーダー用紙は競技者係で配布する。またリレー種目に限り出場しない場合は、速やかに競技者係に申し出ること

招集は本人のみで代理は認めない

なお競技開始20分前にスタート地点にいない場合はDNS（棄権）とみなすことがある

各短距離種目、およびリレー種目において8名以下の参加の場合、予選は行わず、レーンを主催者で組みなおし、決勝種目のみ行うこともある

9 結果記録について

結果記録については、QRコード読み込みにより速報を発表する。

10 アスリートビブス（ナンバーカード）について

2枚支給するので胸、背に確実に装着すること。ただしフィールド種目の競技者は胸の1枚でもよいアスリートビブスが装着されていない競技者は出場を認めない

11 競技方法について

800m以上の種目は、すべてタイムレース決勝にて行う

800mはすべてオープンレーンで行う

トラック競技と走幅跳双方に出場する競技者は、トラック競技を優先するのでその旨を跳躍審判員に申し出ること

なおラウンド内に戻らない場合はパス扱いとなるので、トラック競技終了後は速やかに戻ること

5000m競走では一般男子は22分内、壮年男子及び一般女子・非公認男子は25分内で完走できないと審判長が判断した場合、次の周回には入れない

トラック競技のスタート合図はイングリッシュコマンドを採用する

不正スタートはすべてのトラック競技において1回で失格となる

ただしDQ（失格）の競技者も希望があれば、タイム計測は行うことができる

（記録上はDQ・口頭でタイムを伝達・公認記録とはならない）

12 用器具について

競技に使用する用器具はすべて主催者が準備したものを使用しなければならない

また競技用靴の使用は陸連競技規則WA規則TR5.2（テクニカルルール第5条）による

13 表彰について

各種目の入賞3位までに賞状を授与する

14 プログラムについて

別途購入を希望する場合は、総合案内所にて1部300円で販売する

15 競技場への持込品について

競技場に商品名のついた衣類を持ち込む場合は面積40cm²、高さ4cmを超えないこと。バッグ等を持ち込む場合には面積25cm²を超えないこと

競技場内には、携帯電話、スマートフォン、トランシーバー、ビデオ、音楽機器は持ち込めない

16 安全対策（感染症防止・盗難・盗撮）について

水分補給以外の飲食等は観客席でおこなうこと

当日は主催者による記録・広報のための撮影を行うことがある。また主催者が許可した報道機関等による取材、撮影を行う

個人の撮影は、基本的には観客席では可能とする。もし盗難盗撮について不審な人物がいた場合近くにいるスタッフにお知らせください

17 その他

競技中の事故については、主催者により応急処置はするが、以後の責任は負わない

傷害については加入している保険の範囲内の給付とする

フィールド内の芝は、許可なく立ち入らないこと。またフィールド以外でのスパイク歩行は厳禁とする

貴重品の管理は各自で責任をもつこと。必要に応じて更衣室のロッカーを使用すること

スタンド、更衣室のゴミはすべて持ち帰ること

競技の進行状況により、競技時間の変更をすることがあるので注意すること